

等級別料率制度のご案内

このご案内は、「長期保険料分割払特約」「長期保険料一括払特約」等^(注1)をセットしたご契約における等級別料率制度の概要をご説明したものです。

現在のご契約の等級、事故有係数適用期間および割増引率は保険証券^(注2)をご確認ください。

なお、等級別料率制度の詳細につきましては、パンフレット、『ご契約のしおり(約款)』^(注3)等をご参照ください。

(注1)「新長期保険料分割払特約」をセットした長期契約を除きます。

(注2)保険契約継続証を発行している場合は「保険契約継続証」、ご契約締結時にe c o保険証券または法人e c o保険証券をご選択いただいた場合は、当社ホームページの「ご契約内容」と読み替えます。

(注3)ご契約締結時にW e b約款をご選択いただいた場合は、当社ホームページにてご確認ください。

1. 等級別料率制度

『GK クルマの保険』『自動車保険・一般用』『はじめての自動車保険』では、1～20等級および「無事故」「事故有」の区分によって保険料が割引・割増される制度が採用されています。

この制度では保険金をお支払いする事故の有無、事故内容、事故件数等により、継続契約の等級および事故有係数適用期間^(注1)が決定されます。

継続契約の等級および事故有係数適用期間の決定方法ならびに適用される割増引率は次の(1)～(3)のとおりです。

(注1)「事故有」の割増引率を適用する期間(始期日時点における残り年数)のことをいいます。

(1) 等級の決定方法^{(注2)(注3)}

$$\text{現在のご契約の等級} + \left(\text{現在のご契約の保険期間の年数}^{(注4)} - 3 \text{ 等級ダウン事故の件数} - 1 \text{ 等級ダウン事故の件数} \right)^{(注5)} - 3 \times 3 \text{ 等級ダウン事故の件数} - 1 \times 1 \text{ 等級ダウン事故の件数}$$

(2) 事故有係数適用期間の決定方法^{(注2)(注3)}

$$\left(\text{現在のご契約の事故有係数適用期間} - \frac{\text{現在のご契約の保険期間の年数}^{(注4)}}{2} \right)^{(注5)} + 3 \times 3 \text{ 等級ダウン事故の件数} + 1 \times 1 \text{ 等級ダウン事故の件数} - \frac{\text{現在のご契約の保険期間の年数}^{(注4)}}{2}$$

※事故有係数適用期間は、小数点第1位を切り上げます。また、上限は「6年」とし、下限は「0年」とします。

(注2)事故の区分については裏面の「2. 等級別料率制度における事故の取扱い」をご参照ください。

(注3)現在のご契約の満期日(または解約日)の翌日から起算して7日以内に継続契約の始期日がある場合の取扱いです。

(注4)1年未満は切り捨てます。

(注5)〔 〕内が0を下回る場合は0として計算します。

(3) 割増引率

継続契約の等級および事故有係数適用期間に応じて以下の割増引率が適用されます。

なお、7等級(F)～20等級では、同一の等級であっても事故有係数適用期間により割増引率が異なります。

①事故有係数適用期間が0年の場合 : 「無事故」の割増引率が適用されます。

②事故有係数適用期間が1年～6年の場合 : 「事故有」の割増引率が適用されます。

等級	割増(%)		割引(%)																	
	^(注6) 1	2	3	4	5	6F	7F	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	^(注7) 20
①無事故	64	28	12	2	13	19	30	40	43	45	47	48	49	50	51	52	53	54	55	63
②事故有							20	21	22	23	25	27	29	31	33	36	38	40	42	44

(注6)所定の条件をすべて満たしている場合は、「1等級連続事故契約割増」が適用されます。

(注7)所定の条件をすべて満たしている場合は、「長期優良割引」が適用されます。

※裏面もご覧ください

< 保険金をお支払いする事故が発生した場合の、継続契約の等級および事故有係数適用期間の適用方法 >

【例】 保険期間が3年のご契約(19等級、事故有係数適用期間0年)で、第1保険年度に3等級ダウン事故が1件あった場合

	現契約			継続契約		
	第1保険年度	第2保険年度	第3保険年度	第1保険年度	第2保険年度	第3保険年度
等級	19等級	19等級	19等級	18等級	18等級	18等級
事故有係数適用期間	0年	0年	0年	2年	2年	2年

■等級の計算式

$$19 + (3 - 1 - 0) - 3 \times 1 - 1 \times 0 = 19 + 2 - 3 - 0 = 18 \Rightarrow 18 \text{等級}$$

■事故有係数適用期間の計算式

$$\left(0 - \frac{3}{2}\right) + 3 \times 1 + 1 \times 0 - \frac{3}{2} \Rightarrow 0 + 3 + 0 - 1.5 = 1.5 \Rightarrow 2 \text{年 (小数点第1位を切り上げ)}$$

0を下回るため0として計算します

2. 等級別料率制度における事故の取扱い

等級別料率制度において、保険金をお支払いする事故があった場合には事故内容により次の(1)~(3)の区分となります。

(1) 3等級ダウン事故

下記の「(2) 1等級ダウン事故」および「(3) ノーカウント事故」に該当しない事故をいいます。

(2) 1等級ダウン事故

支払われる保険金が普通保険約款車両条項の車両保険金^(注1)のみである場合の事故^(注2)で、かつ、損害の原因となった事故が次のいずれかに該当する場合の事故をいいます。

< 損害の原因となった事故 >

- 火災・爆発(飛来中もしくは落下中の物以外の他物との衝突もしくは接触またはご契約のお車の転覆もしくは墜落によって生じた火災・爆発を除きます。爆発には、他物の爆発による被爆を含みます。)
- 盗難
- 騒擾^{じょう}、労働争議に伴う暴力行為または破壊行為
- 台風・竜巻・洪水・高潮
- 落書、いたずら(ご契約のお車の運行によるものおよびご契約のお車と他の自動車との衝突または接触によるものを含まません。)
- 飛来中または落下中の他物との衝突
- 窓ガラス破損(飛来中もしくは落下中の物以外の他物との衝突もしくは接触またはご契約のお車の転覆もしくは墜落によって生じた窓ガラス破損を除きます。)
- その他偶発的な事故(他物との衝突もしくは接触またはご契約のお車の転覆もしくは墜落を除きます。)

(注1) 普通保険約款車両条項第7条(費用)の車両保険金を除きます。

(注2) 全損時諸費用特約、車内手荷物等特約、または積載事業用動産特約にかかわる保険金があわせて支払われる場合を含みます。

(3) ノーカウント事故

支払われる保険金が次のいずれかの保険金のみである場合の事故、またはこれらの組み合わせのみである場合の事故をいいます。^(注3)

普通保険約款の保険金	<input type="radio"/> 人身傷害保険金 <input type="radio"/> 普通保険約款車両条項第7条(費用)の車両保険金
特約の保険金	<input type="radio"/> 不正アクセス・車両の欠陥等による事故の被害者救済費用特約 <input type="radio"/> 重度後遺障害時追加特約 <input type="radio"/> 無保険車傷害特約 <input type="radio"/> 搭乗者傷害(入通院/5区分)特約 <input type="radio"/> 搭乗者傷害(入通院/日数)特約 <input type="radio"/> レンタカー費用特約 <input type="radio"/> ロードサービス費用特約 <input type="radio"/> ファミリーバイク(人身傷害型)特約 <input type="radio"/> 自動車事故弁護士費用特約 <input type="radio"/> 日常生活賠償特約(保険金額・無制限)

(注3) 車両保険無過失事故特約をセットした場合で、同特約に定める条件を満たすときは、上記に該当しない事故であってもノーカウント事故として取り扱います。ただし、新車特約、車両全損(70%)特約または車両超過修理費用特約にかかわる保険金が発払される場合を除きます。